

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 かながわ福祉移動サービスネットワーク	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	団体の役割	横浜市の役割
	相談窓口での相談対応に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 窓口設置場所の提供 2 相談窓口の運営 3 市民公益活動等に関する相談対応 4 その他事業の実施において必要な事項 	<ol style="list-style-type: none"> 1 窓口の設置に関する調整及び協力 2 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 3 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力 4 その他事業の実施において事項への調整や協力
	事業の広報に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力 	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業実施にかかる情報の発信
	市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加 	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加に関して必要となる事項への各種調整
実施期間	平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで		

記入日	平成 28 年 6 月 30 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人 かながわ福祉移動サービスネットワーク ・記入責任者 氏名： 石山 典代 連絡先： 045-534-6718
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 佐藤 成美 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行います。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		かながわ福祉移動サービスネットワーク	横浜市
1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合っよく理解することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		かながわ福祉移動サービスネットワーク	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	A	A
3	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A
4	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	B
5	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	A	A

③ふりかえり段階

		かながわ福祉移動サービスネットワーク	横浜市
1	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	A	B
2	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
3	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

自由記入欄

<かながわ福祉移動サービスネットワーク>

市民が「外出支援」に関連する NPO の設立を考えたとき、専門性を持って支援にあたることができると考え、本事業に参加させていただきました。事業開始にあたっては、本事業の趣旨を理解し、市民が気軽に相談できる場所を NPO が設置し、市民活動への参画や NPO 設立の相談機関として、機能することを目指しました。事業評価にあたって気づいたことですが、もっと積極的に当会としての事業の広報をするべきであったと思いました。横浜市内の認定や指定 NPO が、培ってきたそのノウハウを活かして、これからチャレンジする方々に対して相談にのるという形で貢献できる、とても良い事業だったと思います。

<横浜市>

平成 27 年 6 月から新たに相談窓口を開設していただきました。事務所での相談対応のほか、11 月の NPO 法人設立講座にアドバイザーとして参加していただき、NPO 法人化へ踏み切った理由や、運営資金の確保などに関する参加者からの質疑に対して、これまでの経験や事務局長という立場に基づく実践的なアドバイスをしていただきました。ただし、説明会後にアンケート結果等を共有するような振り返りの機会を設けることができなかつたため、事業評価の際に合わせて実施させていただきました。

平成 28 年 3 月 16 日には、今年度事業の振り返りと、次年度に向けた意見交換会に参加していただきました。

相談窓口を開設していただくにあたっての事前の打合せや、11 月の講座前の打合せを通じ、事業の目的や対象などを共有したことで、お互いへの理解を深めることができたと思います。

次年度に向けて、意見交換等を踏まえながら、引き続き一緒に事業を検討していただければと思います。

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人コロンブスアカデミー	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	特定非営利活動法人コロンブスアカデミーの役割	横浜市の役割
	相談窓口の設置に関すること	1 窓口設置場所の提供	1 窓口の設置に関する調整及び協力
	相談窓口の運営に関すること	1 相談窓口の運営 2 市民公益活動等に関する相談対応	1 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 2 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力
	事業の広報に関すること	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力	1 事業実施にかかる情報の発信
実施期間	平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで		

記入日	28 年 6 月 20 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人コロンブスアカデミー ・記入責任者 氏名： 福島 恭子 連絡先： 045-761-0167
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 佐藤 成美 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行います。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		コロンブスアカデミー	横浜市
1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合っよく理解することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		コロンブスアカデミー	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	相手に任せきりにせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	A	A
3	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A
4	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	B
5	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	A	A

③ふりかえり段階

		コロンブスアカデミー	横浜市
1	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	B	B
2	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
3	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

自由記入欄
<p><コロンブスアカデミー></p> <p>NPO法人設立講座では、活動紹介をさせていただき、その場で質問・相談を受ける機会をいただきました。法人の活動のみならず、そこで「働く」ことについての質問も多く寄せられ、皆さんがより具体的なことを知りたい、聞きたいというニーズを肌で感じることができました。これから立ち上げようとしている方々と実際に対面してお話しする機会は当法人にとっても貴重な機会となりました。また、この事業が3年目となり、初めて委託されている団体が集まって意見交換会を行うことができたのも一つの成果であると感じています。本事業は一旦、終了しますが、今後も自分たちができる「恩送り」を考えながら、これから活動を始めようとしている方や他の法人からの相談をお受けしていきたいと思ひます。また、自分たちもまだ途上で他の法人の皆さんに聞きたいことがたくさんあるので、関係づくりに努めていきます。</p>

<横浜市>

平成 27 年度は、事務所での相談対応のほか、5月のNPO法人設立講座にアドバイザーとして参加していただきました。当日は、活動紹介のほか、参加者からNPO法人の経営面などに関する相談に応じていただき、実践的なアドバイスをしていただきました。ただし、講座終了後にアンケート結果等を共有するような振り返りの機会を設けることができなかつたため、事業評価の際に合わせて実施させていただきました。

また、平成 28 年 3 月 16 日には、今年度事業の振り返りと、次年度に向けた意見交換会に参加していただきました。

事業開始当初から 3 年にわたり事業に携わっていただいたことで、法人と当課の関係が築かれ、お互いへの理解が進み、事業をスムーズに実施できたと思います。

次年度に向けて、意見交換等を踏まえながら、引き続き一緒に事業を検討していただければと思います。

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 さくらんぼ	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	団体の役割	横浜市の役割
	相談窓口での相談対応に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 窓口設置場所の提供 2 相談窓口の運営 3 市民公益活動等に関する相談対応 4 その他事業の実施において必要な事項 	<ol style="list-style-type: none"> 1 窓口の設置に関する調整及び協力 2 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 3 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力 4 その他事業の実施において事項への調整や協力
	事業の広報に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力 	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業実施にかかる情報の発信
	市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加 	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加に関して必要となる事項への各種調整
実施期間	平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで		

記入日	平成 28 年 6 月 20 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人さくらんぼ 理事長 伊藤保子 ・氏名： 担当 藤沼和子 ・連絡先： 045-367-7224
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 佐藤 成美 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行います。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		さくらんぼ	横浜市
1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	B	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	B	A

②事業実施段階

		さくらんぼ	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	B	A
2	相手に任せっきりせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	A	A
3	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	B	A
4	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	C	B
5	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	B	A

③ふりかえり段階

		さくらんぼ	横浜市
1	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	C	B
2	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	B	A
3	期待された事業成果を得られることができたか。	B	A

自由記入欄

<さくらんぼ>

- ・平成27年度は、法人窓口でNPO法人の立ち上げ、運営方法の相談があり対応しました。
- ・事業の広報について市民に発信できていなかったこともあり、件数は3件にとどまりました。
- ・いずみ区民活動支援センターでの企画に、法人として代表者がアドバイザーとして参加いたしましたが、多数の参加者がありNPOに対する関心度が高く、このような企画のニーズがあると感じました。
- ・3月に事業の振り返りを行い、横浜市との今後の事業の方向性について意見交換を行いました。3年間、窓口相談窓口に関わらせていただき、相談件数はあまり伸びませんでした。事業に関して市民局と意見交換を重ね、事業を進めることが出来ました。この事業は今年度で終了とのことですが、また別の企画でお役に立てることがありましたら協力させていただけたらと思います。

<横浜市>

平成27年度は、事務所での相談対応のほか、2月のいずみ区民活動支援センターでのNPO法人入門講座にアドバイザーとして参加していただきました。当日は、ミッションを共有することの必要性や組織マネジメントなど、これまでの法人運営の経験を踏まえたお話をしていただき、参加者

からは、「NPO法人のリアルの話がきけてよかった」等のお声をいただきました。また、今回はじめての試みで実施した区民活動支援センターでの講座でしたが、講座の開催を通して次年度の事業展開につながる企画とすることができました。

また、平成 28 年 3 月 16 日には、今年度事業の振り返りと、次年度に向けた意見交換会に参加していただきました。

事業開始当初から 3 年間にわたり当該事業に携わっていただいたことで、法人と当課の関係が築かれ、お互いへの理解が進み、事業をスムーズに実施できたと思います。

次年度に向けて、意見交換等を踏まえながら、引き続き一緒に事業を検討していただければと思います。

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	団体の役割	横浜市の役割
	相談窓口での相談対応に関する こと	1 窓口設置場所の提供 2 相談窓口の運営 3 市民公益活動等に関する相談対応 4 その他事業の実施において必要な事項	1 窓口の設置に関する調整及び協力 2 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 3 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力 4 その他事業の実施において事項への調整や協力
	事業の広報に関する こと	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力	1 事業実施にかかる情報の発信
	市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加	1 市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加	1 市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加に関して必要となる事項への各種調整
実施期間	平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで		

記入日	2016 年 6 月 27 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体名等： 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま ・記入責任者 氏名： 吉原 明香 連絡先： 045-222-6501
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 佐藤 成美 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行います。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		市民セクターよこはま	横浜市
1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		市民セクターよこはま	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	相手に任せきりにせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	A	A
3	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A
4	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	C	B
5	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	A	A

③ふりかえり段階

		市民セクターよこはま	横浜市
1	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	B	B
2	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
3	期待された事業成果を得られることができたか。	B	A

自由記入欄

<市民セクターよこはま>

- ・ 全体としては、本制度に参画することができて良かったと考えている。認定 NPO 法人の立場を活かして活動することができ、とくに他の NPO 法人に対して、認定 NPO 法人として動く中で蓄積した情報やノウハウ等を伝えることができた。こうした認定 NPO 法人の立場を活かした活動は、法人単独で行うことが難しく、この制度に参画することで、行政や他の法人との協働の場にもなった。
- ・ 制度そのものは意義があり、団体支援や NPO 法人全体の底上げという意味で必要なものであると感じていたが、より良い仕組みにしていくために、制度設計段階から次の展開にしていくところまで、参画団体と話し合いを行うなど、団体と一緒に作り上げていくことができれば、異なる結果が得られたかもしれない。その期間については惜しまれるものの、3年目に入り、初めて意見交換の場が持たれ、将来に向けて話げできたことは有意義であったと感じている。

<横浜市>

窓口での相談対応に加え、市民活動支援センターでのNPO法人設立講座（2回）や、いずみ区民活動支援センターでのNPO法人入門講座にアドバイザーとして参加していただきました。講座では、NPO法人の立場からNPO法人のしくみや特徴などのお話をしていただきました。市民活動支援課からの制度概要説明だけでなく、実践的なお話をしていただいたことで、参加者がNPO法人の知識（制度以外の部分も含めて）をより深める機会となりました。また、今回はじめての試みで実施した区民活動支援センターでの講座開催を通して次年度の事業展開につながる企画とすることができました。

平成28年3月16日には、今年度事業の振り返りと、次年度に向けた意見交換会に参加していただきました。

次年度は、認定指定ネットワーク構築として事業を展開していく予定ですが、実施企画等に当たっては、当課と一緒に中心となって進めていただければと思います。

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業													
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 地球市民ACTかながわ												
	行政	横浜市市民局市民活動支援課												
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する													
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること													
役割及び責任 分担等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業項目</th> <th>団体の役割</th> <th>横浜市の役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談窓口での相談対応に関する こと</td> <td> 1 窓口設置場所の提供 2 相談窓口の運営 3 市民公益活動等に関する相談対応 4 その他事業の実施において必要な事項 </td> <td> 1 窓口の設置に関する調整及び協力 2 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 3 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力 4 その他事業の実施において事項への調整や協力 </td> </tr> <tr> <td>事業の広報に関する こと</td> <td>1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力</td> <td>1 事業実施にかかる情報の発信</td> </tr> <tr> <td>市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加</td> <td>1 市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加</td> <td>1 市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加に関して必要となる事項への各種調整</td> </tr> </tbody> </table>	事業項目	団体の役割	横浜市の役割	相談窓口での相談対応に関する こと	1 窓口設置場所の提供 2 相談窓口の運営 3 市民公益活動等に関する相談対応 4 その他事業の実施において必要な事項	1 窓口の設置に関する調整及び協力 2 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 3 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力 4 その他事業の実施において事項への調整や協力	事業の広報に関する こと	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力	1 事業実施にかかる情報の発信	市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加	1 市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加	1 市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加に関して必要となる事項への各種調整	
	事業項目	団体の役割	横浜市の役割											
	相談窓口での相談対応に関する こと	1 窓口設置場所の提供 2 相談窓口の運営 3 市民公益活動等に関する相談対応 4 その他事業の実施において必要な事項	1 窓口の設置に関する調整及び協力 2 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 3 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力 4 その他事業の実施において事項への調整や協力											
事業の広報に関する こと	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力	1 事業実施にかかる情報の発信												
市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加	1 市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加	1 市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加に関して必要となる事項への各種調整												
実施期間	平成 27 年 11 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで													

記入日	2016 年 6 月 30 日
	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人 地球市民ACTかながわ ・記入責任者 氏名： 伊吾田善行 連絡先： 045-622-9661
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 佐藤 成美 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行います。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		地球市民ACT かながわ	横浜市
1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		地球市民ACT かながわ	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	相手に任せきりにせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	A	A
3	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A
4	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	B
5	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	A	A

③ふりかえり段階

		地球市民ACT かながわ	横浜市
1	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	B	B
2	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
3	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

自由記入欄
<p><地球市民ACTかながわ> これから認定NPO法人を目指す団体に当会の経験を共有することで貢献できたと思います。連携することにより横浜市の強みと当会の強みを効果的な形で発揮することができました。今後も、意見交換等をしながら、一緒に事業を検討していければと思います。</p> <p><横浜市> 平成27年11月から新たに相談窓口を開設していただきました。事務所での相談対応のほか、11月の認定指定NPO法人制度説明会にアドバイザー参加していただき、クレジットカード寄附の導入など寄附の集め方に関することや、適正な運営を行うための工夫のお話等をしていただきました。これから認定の取得を検討している参加者にとって、大変参考になる実践的なアドバイスをしていただきました。ただし、説明会後にアンケート結果等を共有するような振り返りの機会を設けることができなかったため、事業評価の際に合わせて実施させていただきました。</p>

また、平成 28 年 3 月 16 日には、今年度事業の振り返りと、次年度に向けた意見交換会に参加していただきました。

相談窓口を開設していただくにあたっての事前の打合せや、11 月の説明会前の打合せを通じ、事業の目的や対象などを共有したことで、お互いへの理解を深めることができたと思います。

次年度に向けて、意見交換等を踏まえながら、引き続き一緒に事業を検討していただければと思います。

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 つづき区民交流協会	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	団体の役割	横浜市の役割
	相談窓口での相談対応に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 窓口設置場所の提供 2 相談窓口の運営 3 市民公益活動等に関する相談対応 4 その他事業の実施において必要な事項 	<ol style="list-style-type: none"> 1 窓口の設置に関する調整及び協力 2 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 3 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力 4 その他事業の実施において事項への調整や協力
	事業の広報に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力 	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業実施にかかる情報の発信
	市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加 	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民活動支援課及び市民活動支援センター等主催講座へのアドバイザー参加に関して必要となる事項への各種調整
実施期間	平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで		

記入日	平成 28 年 3 月 31 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人つづき区民交流協会 ・記入責任者 氏名： 丸山 由利子 連絡先： 045-942-5516
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 佐藤 成美 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができていたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行います。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

			つづき区民交流協会	横浜市
事業計画段階	1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	A	A
	2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A
事業実施段階	3	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
	4	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	A	A
	5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	B	A
	6	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	B
	7	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	B	A
ふりかえり段階	8	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	B	B
	9	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
	10	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

自由記入欄
<p><つづき区民交流協会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定 NPO 法人説明会では、様々な団体と情報交換することができました。 ・寄附金獲得については、今後コミハ有料化等の制度変更の可能性があることから、難しくなってくる事が予想されます。そうした場合、指定 NPO 法人も含め、どのような形態が望ましいかの検討が必要となります。説明会を通じて、基本的な知識や生の情報を得ることができるのは有り難いです。 <p><横浜市></p> <p>平成 27 年度は、事務所での相談対応のほか、11 月の認定指定 NPO 法人制度説明会にアドバイザーとして参加していただきました。当日は、法人の事業として複数の施設の管理運営をしている立場から、認定にあたっての事務手続きや、寄附の呼びかけなどのお話をしていただきました。これから認定の取得を検討している参加者にとって、大変参考になる実践的なアドバイスをしていただきました。ただし、説明終了後にアンケート結果等を共有するような振り返りの機会を設けることができなかったため、事業評価の際に合わせて実施させていただきました。</p> <p>また、平成 28 年 3 月 16 日には、今年度事業の振り返りと、次年度に向けた意見交換会に参加し</p>

ていただきました。

これまで2年間当該事業に携わっていただいたことで、法人と当課の関係が築かれ、お互いへの理解が進み、事業をスムーズに実施できたと思います。

次年度に向けて、意見交換等を踏まえながら、引き続き一緒に事業を検討していただければと思います。

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブ樹	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブ樹 の役割	横浜市の役割
	相談窓口の設置に関すること	1 窓口設置場所の提供	1 窓口の設置に関する調整及び協力
	相談窓口の運営に関すること	1 相談窓口の運営 2 市民公益活動等に関する相談対応	1 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 2 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力
	事業の広報に関すること	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力	1 事業実施にかかる情報の発信
実施期間	平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで		

記入日	28 年 6 月 1 日
	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブ樹 ・記入責任者 氏名： 事務局長 建石比奈子 連絡先： 045-776-2802
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 佐藤 成美 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行います。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		ワーカーズ・コレクティブ樹	横浜市
1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		ワーカーズ・コレクティブ樹	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	相手に任せきりにせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	A	A
3	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A
4	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	B
5	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	A	A

③ふりかえり段階

		ワーカーズ・コレクティブ樹	横浜市
1	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	B	B
2	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
3	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

自由記入欄
<p><ワーカーズ・コレクティブ樹></p> <p>説明会等でお話をさせていただく機会をいただき、ありがとうございました。また意見交換会等で他団体の活動の様子を伺い大変参考になりました。個別の相談はなかなか問い合わせがなく、実際の活動につながりませんでした。横浜市のNPOが発展して活動できる仕組みができ、そのメンバーに加わっていきたいと思っています。</p> <p><横浜市></p> <p>平成27年度においても、事務所での相談対応のほか、5月の認定指定NPO法人制度説明会にアドバイザーとして参加していただきました。指定NPO法人を取得しての所感や寄附の状況などのお話と、参加者からの相談対応をしていただきました。実際に指定を取得した法人の生の声や率直なお話がきけたことで、参加者からは大変参考になったとの感想が寄せられました。ただし、説明会後にアンケート結果等を共有するような振り返りの機会を設けることができなかったため、事業評価の際に合わせて実施させていただきました。</p>

また、平成 28 年 3 月 16 日には、今年度事業の振り返りと、次年度に向けた意見交換会に参加していただきました。

事業開始当初から 3 年にわたり事業に携わっていただいたことで、法人と当課の関係が築かれ、お互いへの理解が進み、事業をスムーズに実施できたと思います。

次年度に向けて、意見交換等を踏まえながら、引き続き一緒に事業を検討していただければと思います。